

第3次 鳥羽市観光基本計画

「鳥羽うみ」と共に生きる観光まちづくり
～ *The Blessed Sea* ～

令和8年3月 鳥羽市

はじめに

本市は、伊勢志摩国立公園に位置し、豊かな海と美しい自然、そして海女文化をはじめとする先人から受け継がれてきた貴重な歴史・文化資源に恵まれた観光都市です。観光はこれまで、本市の基幹産業として地域経済を支えるとともに、市民の暮らしや地域の営みと深く結びつきながら発展してきました。

一方で、人口減少や少子高齢化の進行、観光ニーズの多様化、新型コロナウイルス感染症による社会環境の変化など、観光を取り巻く状況は大きな転換期を迎えています。加えて、近年は国際観光の回復とともに、海外から日本を訪れる旅行者が着実に増加しており、本市においても、国内観光に加え、インバウンド誘客を重要な柱として位置づけていく必要があります。



こうした中で求められているのは、単に来訪者数の増加を目指す観光ではなく、市民の暮らしや地域の価値を大切にしながら、旅行者と地域が良い関係を築いていく観光の在り方です。本計画は、国内外からの来訪者にとって魅力的であると同時に、市民一人ひとりが観光の意義を実感し、誇りを持って暮らし続けられる「市民と観光客が共存・共栄する観光まちづくり」を基本的な考え方として、今後10年間における本市の観光施策の方向性を示すものです。

特に、2033年に予定されている神宮式年遷宮は、伊勢志摩地域全体にとって、国内外へその魅力を発信する極めて重要な節目となります。本市においても、この好機を一過性の誘客に終わらせることなく、受入環境の充実や多言語対応をはじめとした情報発信の強化、地域資源を活かした滞在・周遊の促進など、将来を見据えた誘客の基礎固めを着実に進めていくことが重要であると考えています。

また、観光の効果が地域に持続的に還元され、市民の暮らしの質の向上につながることも、今後の観光施策において欠かせない視点です。本計画では、観光事業者や関係団体、市民の皆様との連携を一層深めながら、鳥羽ならではの魅力を磨き上げ、住む人にも訪れる人にも心地よい観光地づくりを進めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、多くの皆様から貴重なご意見をお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。本計画を着実に推進することで、次の世代へと誇れる鳥羽の観光をつないでいけるよう、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年3月 鳥羽市長 小竹 篤

目次

第1章 計画策定の趣旨	3
1. 計画の背景と目的	4
2. 計画期間と体系	5
第2章 鳥羽市の観光の現状と課題	6
1. 鳥羽市の概要	7
2. 鳥羽市の観光の動向	8
3. 国や県などの観光の動向	10
4. 上位関連計画との関係	11
5. 第2次観光基本計画の評価	12
6. 現状と課題	13
第3章 鳥羽市の観光の目指す姿	16
1. 目標像	17
2. 目標像を実現するための基本方針	18
3. 計画の目標値	20
第4章 基本戦略と主要施策	23
1. 8つの基本戦略の位置づけ	24
2. 基本戦略と主要施策	25
第5章 計画の実現に向けて	41
1. 計画の推進体制	42
2. 各主体の役割	44
資料編	45